

令和6年度静岡県当初予算

「自民改革会議」が要望して実現した、主な新規・拡充した事業をご紹介します。

物価高騰等乗り越える強靱な社会の構築

事業費支援
脱炭素社会実現関連事業費 6億3,500万円

中小企業、個人事業主等の省エネ機器導入等を支援(補助率1/2 ほか)

新規 脱炭素経営を支援するSDGs・ESG金融コンソーシアムの設立

中小企業等付加価値創出事業費助成 6億7,000万円

中小企業等の経営力や生産性向上の取組を支援(補助率2/3 ほか)

新規 物価高騰種:1億1,000万円

中小企業向け制度資金 利子補給額 20億7,200万円[融資枠1,200億円]

中小企業等の経営改善と安定に必要な資金調達を支援

新規 コロナ資金の借換種:350億円

農林水産業

県産飼料自給率向上対策事業費 2,600万円

新規 輸入飼料から県産飼料への転換、畜産経営の安定化を支援(3地区)

生活費支援

私立学校授業料減免関連事業費助成 18億9,200万円

拡充 対象世帯:年収820万円未満 ▶ 850万円未満

地域産業の活力向上

中小企業デジタル技術導入促進事業費 3,300万円

多様な作業の自動化を促進する機器導入や実証を支援

新規 物流業の作業効率化への支援、デジタル技術獲得講座の開催(2回) ほか

コロナ禍からの強い回復を実現する経済対策

観光誘客関連事業費 9億7,900万円

長期滞在・周遊性の向上やインバウンド需要回復への支援 ほか

新規 宿泊業の業務効率化や社員寮整備の取組を支援(補助率1/4)

空港交流促進等関連事業費 11億1,500万円

航空路線復活のための就航促進 開港15周年を契機とした利用促進

新規 空港地上支援業務を担う人材確保支援(補助率2/3 ほか)

農業経営への支援

農芸品品質管理高度化促進事業費助成 8,100万円

スマート農業実装化支援事業費 3,500万円

畜産・畜産振興施策の充実

食肉センター再編整備事業費 44億4,400万円

畜産競争力強化対策事業費助成 5,200万円

森林・林業振興施策の充実

住んでよししずおか木の家推進事業費助成 2億円

拡充 県産材を活用した建築物の木造化等を行う事業者を支援(30万円~150万円)

頻発する大規模な自然災害への対応・強靱な県土づくり

県単独生活環境整備事業費 270億円

災害対策調査費 10億円

“人・地域をつなぐ道”緊急対策事業費 25億円

豪雨等災害対策緊急事業費 25億円

新たな課題に対する道路環境整備、治水事業の緊急対策

県土強靱化対策事業費(R6~7延長) 40億円

安全で美しい県土環境保全事業費(R6~7延長) 5億円

緊急交通安全対策事業費(R6~7延長) 5億円

能登半島地震を受けた対応

地震・津波対策等減災交付金 23億円

地域防災力強化支援事業費 600万円

市町が取り組む地震・津波対策を支援(R5~R7:73億円)

新規 被災者支援コーディネーターの育成(35人)

新規 感震ブレイカーの設置を補助する市町を支援(補助率1/3)

災害激甚化対策事業費 8,800万円

警察の救助用資器材等を整備

新規 衛星通信設備(スターリンク)3台、電動コンピツール2台 ほか

子ども・子育て施策の強化

結婚・妊娠・出産・子育てに至る切れ目のない支援

不妊治療費(先進医療)助成 1億3,400万円

男性育児休業取得促進事業費助成 1,500万円

新規 保険適用外の先進医療に対して支援(補助率7/10、上限5万円/回 ほか)

新規 育児休業を取得した中小企業の男性従業員への支援金(上限5万円/人)

安心して子どもを産み育てられる環境整備

軽聴児等支援関連事業費 1億3,000万円

子ども・若者意見反映推進事業費 1,400万円

新規 海外の療育手法を取り入れた全国初のパイロットモデルの構築(R6~9)

新規 子どもや若者の意見を反映した県子ども計画の策定

不登校や社会的養護が必要な子どもへの対策・支援の充実

不登校対策関連事業費 6,000万円

新規 フリースクールの運営に対する支援(補助率1/2、上限100万円)

メタバースを活用したバーチャルスクールの構築・運営

要保護・要支援児童等対策関連事業費 1億6,800万円

新規 夜間業務等を担う補助員の雇上げ費用を支援(415万円/人 ほか)

介護・福祉人材の確保

介護・障害福祉人材確保関連事業費 7億3,800万円

病院合同就職説明会、薬学部進学率向上セミナーの開催 ほか

新規 国際介護人材サポートセンター(仮称)の開設

6,000円/月・人(令和6年2月~5月分)

外国人職員の新規受入のための生活費支援(上限20万円/施設) ほか

地域包括ケアシステム、認知症対策の推進

地域包括ケアシステム推進関連事業費 2億7,100万円

新規 在宅医療を積極的に担う医療機関等への支援(125万円/箇所)

認知症総合対策推進事業費 8,800万円

新規 介護離職防止セミナー、認知症出前講座の実施 ほか

静岡県議会議員 赤堀慎吾事務所

〒439-0006 菊川市堀之内110-1 コーポ石川201

TEL 0537-28-7318

FAX 0537-28-7319

菊川市役所のすぐ南、佐塚書店さんの向かいです。

e-mail shingo873945@outlook.jp

ホームページ ▶



県政についてご意見、ご要望をお寄せください。



繋 県政報告 240105 vol.05

令和6年4月 静岡県議会議員

赤堀慎吾



川勝知事 辞職表明

4月2日、川勝知事は突然辞職を表明しました。知事は1日、県庁での新規採用職員への訓示で「県庁はシンクタンクです。毎日毎日野菜を売ったり、あるいは牛の世話をしたりとか、あるいはものを作ったりとかということと違って、基本的に皆様方は頭脳・知性の高い方たちです」などと述べました。この職業差別ともとれる発言に対し翌日2日午後5時までに430件、4日までに累計2,571件の意見が寄せられ、その内95%以上が抗議や苦情でした。こうした状況の中、知事は2日夕方の取材で突然に「6月議会をもってこの職を辞そうと思っている」と辞職を表明しました。

知事は3日に記者会見を行い、辞職を決意した理由は、自らの発言と着工を認めてこなかったリニア中央新幹線が大きな区切りを迎えたことの2つだと説明しました。自らの発言については「不十分な言葉づかいによって人の心に傷つけた。大きく反省するべきことだ。これが繰り返されていることも大きな辞任の理由だ」と述べ、リニア中央新幹線については「(JR東海が)丹羽体制になり最低でも13年余りかかるということは本当に重要な、私にとっては爆弾的なニュースだった。これでは任せられる。これが大きな理由だ」と述べました。

3日の記者会見では、謝罪の言葉はあったものの発言は撤回しませんでした。5日に「職業差別と理解する人が急速に増えている。本意ではないので、削除して撤回する」と表明しました。

川勝知事は、昨年6月定例会で知事の不信任決議案が審議されたことを受け、7月の定例記者会見で「不適切な言動があったら辞めるということになっている」、「今度間違ふようなことをして人様に迷惑をかければ辞職する」と発言しました。9月定例会では自民改革会議の坪内議員の質問に対し「もし不適切な発言があった場合にもう既に辞職勧告決議を頂いておりますから退路を断っております。したがってそうしたことが県民に迷惑をかけるというようなことになれば、これは辞職することを明言しその覚悟はできております」と答弁しています。また、同定例会で知事の給与の減額に関して審議した際に「不適切な発言があった場合には辞職するとの発言に責任を持つこと」と全会一致で付帯決議が付けられました。

しかし今年3月13日、サッカー女子なでしこ1部リーグの「静岡SSUポニータ」が知事を表敬訪問した際に、「磐田は浜松より文化が高い」、「藤枝東はサッカーボールを蹴ることが一番重要」などと特定の地域や学校を揶揄する発言をし、物議を醸しました。そして今回の発言です。誰かを持ち上げるために特定の人や地域を比較のために持ち出すという知事独特のやり方は、多くの人たちを傷つけてきました。

自ら辞職の道を選んだことは評価しますが、これまでの度重なる不適切な発言や行動を見れば遅きに失したと言わざるを得ません。早ければ5月にも知事選挙が執行されます。

2月定例会

2月定例会では、令和6年度静岡県一般会計予算など87議案、委員会提出2議案が、各常任委員会の審査等の結果すべて可決されました。また、令和6年能登半島地震発生後の川勝知事の対応について、県民から不安の声が寄せられていることに応え、知事の有事における行動に対し、次の3項目を全会一致で決議しました。

- 1 知事は、県民の生命と財産を預かる最高責任者であることを十分に自覚し、責任ある行動を取ることを。
- 2 県当局は、本県にとって危機管理は重要施策であることを改めて認識し、知事に対して適切に助言すること。
- 3 今回の能登半島地震を教訓として、近隣県において大規模災害が発生した場合における知事の対応方針を明確にすること。

【一般会計当初予算】

令和6年度一般会計予算は、令和5年度当初比で543億円減(4.0%減)の1兆3,160億円です。コロナ関連等の特殊要因を除けば、実質的には前年度を1.2%上回りました。主な新規・拡充事業は後述のとおりです。

菊川市関連では、静岡茶の再生を目指しオープンイノベーションによる研究開発を推進するため農林技術研究所茶業研究センター整備(倉沢地内)に17億2,000万円(令和5年度2月補正計上)、令和8年度の食肉センター供用開始に向け食肉センター再編整備事業(赤土地内)に44億4,400万円などが計上されています。

◎県管理河川の整備

令和5年度12月補正の実施箇所が決定しました。県管理河川においては次のとおりです。この他、農地地すべり対策(倉沢)、ため池整備事業(川上、和田ほか)も実施されます。

- ① 江川：下流部(左右両岸)45mの護岸工
- ② 丹野川：赤土から川上にかけて400mの河川掘削工
- ③ 西方川：打上橋と栗林橋の間(右岸)126mの護岸工

①江川



②丹野川



③西方川



1月の主な活動内容

- 6日 菊川市消防出初式にて意見交換(菊川消防防災ヘリポート)
- 7日 菊川市はたちの集い(文化会館アエル)
- 16日 天竜浜名湖鉄道の利活用促進・公共交通のありかたについての調査研究議員連盟視察(茨城県境町)
- 17日 菊川市商工会新春賀詞交歓会にて情報収集(文化会館アエル)
- 18日 小笠東地区防災会議(くすりん)
- 20日 議会活動報告会(渡辺市議、須藤市議、赤堀)(くすりん)
- 22日 港湾議員連盟現地視察(清水港、田子の浦港)
- 23日 井之宮神社供養祭にて意見交換(嶺田井之宮神社)
- 24日 令和6年度当初予算編成状況の説明会(県庁)
- 25日~27日 有害鳥獣対策推進議員連盟視察(北海道札幌市、浦臼町)
- 29日 難聴対策推進議員連盟視察(横浜市)
- 31日 富士山静岡空港と地域開発をすすめる会新春会員交流会にて情報収集(島田市)

2月の主な活動内容

- 4日~6日 地震・津波対策を考える議員連盟視察(高知県、愛媛県)
- 7日 2月議会議案件名説明会(県庁)
- 11日 菊川市社会福祉大会にて意見交換(文化会館アエル)
- 14日~18日 シンガポール訪問(シンガポール)
- 18日 おいしい肉のHin菊川畜産フェアにて情報収集(セントラルパーク)
- 20日 県議会2月定例会(県庁)
- 27日~29日 県議会代表・一般質問(県庁)

3月の主な活動内容

- 1日、4日、5日 県議会一般質問(県庁)
- 7日、8日 県議会総務委員会(県庁)
- 15日 菊川市産業支援センターオープニングセレモニー(EnGAWA)
- 18日 県議会2月定例会(県庁)
- 19日 市立小・中学校卒業式にて意見交換
- 25日 県立高等学校の在り方に係る地域協議会(きくる)



菊川市はたちの集い



菊川市商工会
新春賀詞交歓会



議会活動報告会



予算説明会での発言



北海道庁で研修



シンガポール港



高知県黒潮町の避難タワー



産業支援センターオープン